

令和5年度学校評価アンケートの結果と考察

<円グラフ>

色の濃い部分は肯定的な回答（4, 3）の割合を色の薄い部分は否定的な回答（2, 1）の割合を示している。

数値は平均値で、中間は2.5ポイント。

NO	質問事項	否定・肯定 保護者		児童 職員		考察	
		今年度	昨年度	今年度	今年度		
1	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。	11% 	3.4	3.5	3.3	3.4	保護者の肯定的な回答がほぼ9割であり、高い評価を得ている。多くの児童が学校が楽しいと感じているが、否定的な回答をしている児童もいる。引き続き笑顔のあふれる学校づくりに励んでいく。
2	お子さんは、学校のできことを家で話している。	12% 	3.4	3.5	3.2	3.2	児童、保護者ともに高い数値を示しており、多くの家庭で学校の様子について話題にしていただけではないようである。引き続きコミュニケーションの時間を十分に確保していただきたい。
3	学校では、体験学習等、特色ある教育活動が行われている。	6% 	3.4	3.4	3.0	3.6	9割の保護者から肯定的な回答を得た。しかし児童にとっては、普段の教育活動が当たり前として捉え、特色とは考えていない場合も多くあるため、数値は下がっていると思われる。
4	学校の教育方針や情報が、たよりやホームページでわかりやすく伝えられている。	9% 	3.4	3.3		3.7	昨年度と同様に概ね肯定的な回答である。さくら連絡網の導入により、ペーパーレス化、連絡の迅速さが大きく前進した。今後も、情報が速やかに伝わるようにHP・さくら連絡網による情報配信にも力を入れていく。
5	学校は、家庭と連絡をとり、地域と連携して教育活動を行っている。	15% 	3.2	3.4		3.6	授業参観や読み聞かせ、運動会やマラソン大会など、様々な行事に大きな規制をすることなく実施することができた。地域との連携についてはコロナ禍で疎遠になった活動もあるので、家庭・地域との連携を意識した教育活動を進めていく。
6	学校では、特別に支援が必要な児童への配慮がなされている。	12% 	3.2	3.4		3.5	昨年度と同様に高い評価を得ている。今後も、支援員や教職員の拡充を要望すると共に、特別支援教育を充実させるためにエグゼクティブの環境を整え、誰にとっても生活しやすい学校づくりに努める。
7	学校の職員は、外部の方への接遇や対応が親身で丁寧である。	7% 	3.4	3.5		3.8	昨年度と同様に保護者からの高い評価をいただいた。引き続き、電話や来校者に対する丁寧な対応を心がけるとともに、保護者からの相談にもより親身に対応していく。また、ご意見などは真摯に受け止め、信頼される学校づくりに努める。
8	お子さんは、あいさつや適切な言葉遣いが身に付いている。	21% 	3.0	3.1	3.2	3.0	昨年度同様、保護者・児童・職員の評価が他の項目と比較すると低い傾向にある。地域の方にも元気にあいさつできるように、教師が手本となって引き続きあいさつの指導に力を入れていく。ご家庭でもあいさつを習慣化していただきたい。
9	お子さんは、命を大切に、社会のルールを守る態度が身に付いている。	3% 	3.5	3.6	3.6	3.2	今年度も保護者、児童の評価が高く、97%が肯定的な回答である。今後も自他の命を大切に、交通安全指導を徹底し安全に対する意識や実践力が高められるようにしていく。
10	お子さんは、友達と仲良く過ごし、思いやりの心を持って生活している。	4% 	3.5	3.6	3.6	3.4	思いやりの気持ちを持って生活している児童が多く、昨年度と同様に保護者の肯定的な回答も96%と高い。道徳の授業の充実を図ると共に、すべての教育活動を通して思いやりの心を育てていく。
11	学校は、お子さんの悩みや相談事に適切に対応している。	12% 	3.3	3.3	3.5	3.5	昨年度と同様の数値である。職員と児童の評価も差異がなく、適切に対応していると思われる。引き続き、児童一人一人の思いに寄り添った丁寧な対応を心がけると共に、保護者との連携を一層図っていく。
12	学校は、いじめの予防や早期発見、適切な対応に努めている。	21% 	3.0	3.2	3.7	3.6	児童の95%以上は肯定的な回答をしている。「いじめは絶対に許さない」という強い意志のもと、道徳教育や人権教育を充実させていじめの予防に努めると共に、相談活動や観察を通していじめの早期発見・早期対応を心がけ、適切に対応していく。
13	お子さんは、授業に意欲的に取り組んでいる。	15% 	3.2	3.3	3.5	3.3	児童がさらに高い目標に向かって努力するようにさせるとともに、集中して学習できる環境づくりと、わかりやすく楽しい授業づくりに努めていく。
14	お子さんは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	23% 	3.0	3.1	3.4	3.6	保護者・児童共に肯定的な回答が80%未満と他の項目に比べて評価が低い傾向にある。「できた」「わかった」と達成感や充実感を味わえる楽しい授業が展開できるように授業力を向上させていく。
15	お子さんは、授業がわかり基礎的な学力が身に付いている。	17% 	3.2	3.2	3.3	3.1	保護者・児童・職員とも評価は昨年度と変わらない。わかりやすい授業を展開しながら基礎的・基本的な学習事項がしっかりと身につくように指導方法をさらに工夫していく。
16	お子さんは、家庭学習をしっかりと行っている。	30% 	2.9	3.0	3.5	3.2	依然として保護者・職員の評価と児童の評価との差が大きい。子どもたちの意識を高めていくと共に、何をどの程度学習すべきか具体的な目標を明らかにさせながらレベルアップを図っていく。
17	お子さんは、進んで運動し体力が向上してきている。	21% 	3.1	3.2	3.4	3.3	昨年度の新体力テストの結果から劣っていた短距離走の強化を図ってきた。さらに休み時間、体育の授業、体育の行事において瞬発力や持久力など総合的な体力の向上を図っていく。
18	学校は、安全対策に努めている。（けが、交通事故、不審者、防災、衛生管理）	10% 	3.3	3.4	3.7	3.5	肯定的な回答が90%と高い評価をいただいた。各種感染症への対応を確実に行うと共に交通安全や生活安全のための環境整備や指導を強化し、安全で安心な学校づくりに取り組んでいく。また、台風や大雨などの気象災害に対する体制強化を図る。
19	お子さんは、望ましい食習慣が身に付いている。	17% 	3.1	3.1	3.1	3.1	保護者・児童・職員ともまだ十分ではないとの評価だと考える。朝食を食べてこない児童がいるなどの現状を改善するために家庭と連携して望ましい食習慣が身につくように食育を推進していく。